

講義名	日本語C (書く)			授業形態	
担当教員	石橋 明子	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

主題と概要

レポート・論文とはなにかといった基本的なことからレポート・論文が書けるようになるようになる。レポート・論文に必要な能力も身につける。

到達目標

大学生に必要なレポート・論文が書けるようになる。
レポート・論文の書き方を学ぶことで、社会に通じる基本的能力を身につける。

提出課題

ワークシート、課題作文、ルーブリック等、授業中に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

全体としての講評・解説等も行い、フィードバックをする。

評価の基準

期末試験（30％）、中間試験（10％）、課題の提出（30％）、授業参加度（30％）等による総合評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

出欠は毎回とる。
全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。
遅刻3回で1回欠席とする。
1.5分以上の遅刻は、欠席とみなします。
真面目かつ積極的な授業参加を望む。

教科書

.大学・大学院 留学生の日本語 4 論文作成編.	アカデミックジャーナリズム研究会	アルク	1800	9784757426344
--------------------------	------------------	-----	------	---------------

参考図書

.大学生と留学生のための論文ワークブック.	浜田 麻里	くろしお出版	1400	9784874241271
-----------------------	-------	--------	------	---------------

その他

授業計画

第1回	授業ガイダンス 第1課 作文の基本(1)	予習内容: シラバスを読んでおく(80分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(150分)
第2回	第2課 作文の基本(2)	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第3回	第3課 課題の提示	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第4回	第4課 目的の提示	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第5回	第5課 定義と分類	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第6回	第6課 図表の提示	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第7回	第7課 変化の形容	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第8回	第8課 対比と比較	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第9回	第9課 原因の考察	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第10回	第10課 列挙	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第11回	第11課 引用 参考文献の書き方 / レポートのテーマを考える	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第12回	第12課 同意と反論 / レポートのアウトラインを考える	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第13回	第13課 纏結 / 最終レポート序論執筆	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第14回	第14課 結論の提示 / 最終レポート執筆	予習内容: 資料を読み、問題をしておく(120分) 復習内容: 授業の内容を復習し、まとめておく(120分)
第15回	最終レポート執筆	

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目を受講することで、仲間と協同して、物事を成し遂げることができるようになり、人と円滑なコミュニケーションをとることができるようになります。日本文化を学ぶことで創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材となり、必要な日本語能力を身につけ、活用することができるようになります。知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材の育成につながります。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考